

## 平成 27 年度「市民と議会の意見交換会」報告書

平成 27 年 1 月 30 日作成

責任者 坂本 守正

開催日時	平成 27 年 1 月 12 日 (木) 午後 6 時 30 分 開会 ~ 午後 8 時 00 分 閉会		
開催場所	幌糠コミュニティ・センター		
出席議員	村上均副議長	代表者 坂本 守正	
	司会者 珍田 亮子	記録者 土田 悦也	笠原 昌史
	米倉 靖夫	川口 宏和	村山 ゆかり
参加人数	8 人		
質問等の要旨及び回答の要旨	意見 1	JR 留萌線(留萌ー増毛)間の廃線は決まったのか。	
	回答 1	本線留萌深川間廃止も危惧され12月議会には何らかの決議を目指す。	
	意見 2	収支だけで廃線は疑問だ、新幹線より地域交通を。	
	回答 2	受けとめて、JR検討対策会議へ意見反映していく。	
	意見 3	船場公園管理は委託か直営か。	
	回答 3	第1常任委員会で議論されるが委託の方向で推移している。	
	意見 4	ごみステーションの更新に関し過去、本体更新・塗料改善・広報等行政に要望を出しているがそれに対し町内会長にも報告が無い。	
	回答 4	議会として所管対応する。	
	意見 5	介護保険の恩恵が分からない。	
	回答 5	ケアマネージャーとご家族との話し合いの中で特養萌寿園などの低額の所もあり、そこで施設の選択をしていただきたいです。萌寿園の増床も含め議会としても対応していきたいです。	
	意見 6	施設入所待機を無くしてほしい。	
	回答 6	萌寿園の増床を訴えていく。	
	意見 7	介護申請手続き・認定をもっと優しく分かりやすいものにして欲しい。	
	回答 7	対応精査しは一とふるについても調査してみます。	
	意見 8	施設・ヘルパーの選択は困難であり行政はもっと考えて欲しい。	

	回答 8	行政は民間を選択できないが持ち帰り委員会対応します。
質問等の要旨及び回答の要旨	意見 9	船場公園の進入路が分からない。賑わい創出を考えているのか。津波対策は。
	回答 9	賑わい創出については野菜販売、農園作物を調理できる施設でありコンサート、ビアパーティなどができる。皆さんの要望をいただきたい。
	意見 10	年間維持費はいくらかかるのか。
	回答 10	これから所管から提示される。
	意見 11	24時間トイレは維持できるのか。
	回答 11	所管常任委員会で検討させていただきます。
	意見 12	幌糠小中は教育委員会から農政課へ移管されたのか。
	回答 12	学校施設でなくなったので市の共有財産となっている。
	意見 13	閉校時、支援学校を要望したが用途替えできないということだった。
	回答 13	所管が教育委員会だったのでそのようなお答えしたのだと思う。
	意見 14	幌糠小中を町内会、老人クラブ地域で使いたいと要望した。今、避難所の鍵の開閉、管理を地元と共有して柔軟運用をして欲しい。
	回答 14	災害時の対応、使用規約を確認します。
	意見 15	ふるもの利用者数とくに一般の人の利用者数は。
	回答 15	本年度205人、去年281人で減っています。
	意見 16	ふるもは次年度開けるのか。
	回答 16	全面再開には1億円かかり直営か委託か全庁的な精査をしている。授業は絶対できます。
	意見 17	船場パークゴルフの協力金というのは何故か。
	回答 17	料金設定はしていないが指定管理者導入後決める。
	意見 18	有料ならば魅力あるコース作りが必要ではないか。
回答 18	協力金変更あれば報告します。	
意見 19	国道峠下分岐のパーキングの清掃状況が悪くゴミが散乱している。隣接用水の保全が心配だ。看板の設置・罰則金・カメラの設置は。	

